

新時代の文学研究、創作誌の誕生！！

人間にとって



2024年12月 創刊号が刊行されました。

A5判 262頁 定価 1,500円(税込)

題字 市川嘉泉

- ・『人間にとって』は『新世紀人文学論究』(ISSN 2434-2416)の増刊号として、文学に焦点を当てた研究・創作誌をめざします。
- ・文学批評、比較文学、文学と歴史など、およそ文学にまつわる批評論文のほか、戦争文学、現代文学についての論考をおさめます。
- ・創作では、小説(短篇)、短詩形文学(詩、短歌、俳句)、紀行文、エッセイなどを掲載します。また海外文学の翻訳も紹介していきます。
- ・『人間にとって』はどなたでも投稿が出来ます。皆様のご参加、ご支援をお待ちしています。



小誌は店頭ではあつかっておりません。
ご購入ご希望の方は、下記までご連絡ください。

blog <http://yamato-4119.jugem.jp> 人間にとって

編集/発行元：新世紀人文学研究会/亜細亜総合企画工房

〒323-0005

埼玉県志木市幸町1-7-17 田中 寛

電話 08053787543

メール hiroshitanaka724@gmail.com

郵便振替口座 名義 タナカ ヒロシ 番号 11400-01464141

創刊号目次

〈発刊の辞〉「として」の主体意識から「にとって」の主意認識へ

——〈意識〉と〈存在〉の自立的志向

編集主幹

【評論】

- ・「危機の文学」と「文学の危機」—世界史の転換と文学場(序説) 忘却乃花
- ・反戦芸術詩史の原点としてのウィリアム・ブレイク論 松村高夫
- ・現代における「政治と文学」
—「コム・デ・ギャルソン論争」から考える
高度消費社会における「文学」について— 東口昌央

【資料研究】

- ・戦場の宣撫工作に内在する救済と自己観照
—池澤茂「郷村小學校」「柿の實」を例に— 田中 寛
- ・戦争文学探究(1) フィリピンの火野葦平
—「言葉の価値」と「比島点描」について— 戦争文学研究会
- ・高橋和巳研究(1)(資料・未発表草稿)
〈解体〉されたか近代知識人—高橋和巳の作品と方法—(転載)
昭和四五年五月二五日『立命館学園新聞』 同編集局

【創作】

- [詩] 人間にとって 太田雅孝 [小説] あすへ 大嶋岳夫
- [小説] その夏の帰郷[連作(一)] 田中 寛
- [小説] 煙 飯山恵子 [小説] 探し逝く小舟 大内華子
- [エッセイ] 故郷滞在記 琴苺 暁

【中国現代文学短篇小説】

- 果樹園 石 舒清(時 衛国訳)
- 清水の中のナイフ 石 舒清(時 衛国訳)

